

# 令和4年度事業計画

## I 基本方針

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、国内経済の低迷のみならず、国民のライフスタイルにまで影響が及んでいます。また、人口減少や少子高齢化も進行し、労働力人口の減少も懸念されています。

このような中、社会参加意欲のある健康な高齢者が長年培ってきた知識、経験及び能力等を生かし、活躍し続けることができるシルバー人材センターへの社会的期待は大きくなっています。

こうした期待に応えるべく、当センターにおいても積極的かつ効果的な普及啓発に努め、会員の増強と就業の場の確保に全力を注いでまいります。

また、安全はすべてに優先することを全ての会員が理解し、一人ひとりが事故を絶対に起こさないという強い気持ちを持ち、安全対策を実施することで事故の未然防止に努めます。

さらに、今年度末に当センター第2次中期計画の計画期間が終了することから、令和5年度を計画開始年度とする、第3次中期計画の策定も進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せないこともあり、新規入会者数や契約実績、地域活動等に少なからぬ影響を及ぼす懸念はありますが、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、安心・安全を最優先にすべての事業を推進してまいりますので、引き続き会員皆様のご協力をお願いいたします。

今年度も“みんなの笑顔のために”魅力あるセンターを目指し、事業を展開してまいります。

### 【事業計画】

- 1 会員の増強
- 2 就業の場の確保
- 3 安全・適正就業対策の推進
- 4 運営体制の強化・充実

### 【第2次中期計画における目標数値】

| 会員数    | 就業率   | 契約件数    | 契約金額 |             |
|--------|-------|---------|------|-------------|
|        |       |         | 受託事業 | 派遣事業        |
| 4,890人 | 81.0% | 17,800件 | 受託事業 | 1,600,300千円 |
|        |       |         | 派遣事業 | 114,700千円   |
|        |       |         | 合計   | 1,715,000千円 |

注：「就業率」と「契約件数」の数値は、受託事業と派遣事業の合計数値です。

## II 事業実施計画

### 1 会員の増強

目標会員数 4,890 人達成のため、会員一人ひとりが、組織の一員としてセンターの魅力を広く周知することで、会員増強に努めます。

- (1) 「会員 1 人が 1 人を誘う運動」による新規入会者を促進するため、新規会員紹介者に魅力ある会員拡大キャンペーンを実施する。
- (2) センターのホームページを利用して、気軽に入会手続きが行えるシステムづくりを検討する。
- (3) 新規会員獲得のため、ハローワークなどの関連機関や発注者と連携したセンター広報活動と出張入会説明会の実施について検討する。

### 2 就業の場の確保

契約金額 17 億 1,500 万円、契約件数 17,800 件、就業率 81%達成のため、就業開拓並びに普及啓発を図るほか、一人ひとりがより良い就業を心がけ、就業の場の確保に努めます。

- (1) 発注者へのサービス向上を図るため、「お客様満足度調査」を実施する。
- (2) 多くの会員の就業機会を確保するため、新たに作成した資格一覧を活用し、新規発注者への開拓に努める。
- (3) 会員の資質向上と技術や技能のスキルアップを目指し、各種研修会を実施する。

### 3 安全・適正就業対策の推進

**安全・安心して「働く」ため、安全教育の継続や適切な就業形態の情報提供を強化し、安全・適正就業対策を推進します。**

- (1) 「安全のしおり第3版」を全会員に周知し、事故の未然防止及び再発防止に努める。
- (2) 就業途上及び就業中の事故を未然に防止するため、各種安全講習会を実施する
- (3) 請負・委任・派遣の働き方の理解を深めるため、継続的な情報提供に努めるほか、適切な就業形態の説明動画の作成を検討する。

### 4 運営体制の強化・充実

**会員組織の充実を図るため、会員の自主的な活動を推進するとともに、魅力ある組織の構築を目指し、運営体制の強化・充実に努めます。**

- (1) 事務処理の効率化を図るため、電子化に向け調査・研究を行う。
- (2) 組織の活性化を図るため、会員参加の自主運営組織としての地域班・職群班の機能強化に努める。
- (3) 令和5年度を初年度とする第3次中期計画を策定するため、会員の意見を反映した計画の検討に取り組む。
- (4) 地域社会に貢献するため、高齢者の社会参加意欲を共助に結びつける活動として、傾聴ボランティア「あゆみ」やシルバーライフサポート事業(外出支援)を推進するとともに、地域の子供達との世代間交流を目的としたふれあい教室事業を実施する。